

工場見学の活動報告

令和7年11月27日(木)に株式会社トクヤマの徳山製造所全体を見学させていただき、製造工程や電気の流れ、廃棄物処理について学びました。

【徳山工場について】

徳山工場では、原料となる塩を船で輸入し、塩を電気分解することで、塩素や苛性ソーダ、水素を製造していることを学びました。また、工場では多くの電気が必要となるため、工場内に発電所があり、1時間あたり50万kWを発電していると知りました。これは、山口県全体の家庭をまかなえる発電量に相当するようで大変驚きました。発電には、環境に配慮してバイオマス燃料も使用されており、使用できなくなった竹クラーベも燃料として使われていることが分かりました。

【南陽工場について】

南陽工場では、廃タイヤや廃プラスチックといった廃棄物を利用し、セメントを製造していることを学びました。資源のリサイクルによって、循環型社会へ貢献していることを知ることができました。

【東工場について】

東工場では、半導体向けの多結晶シリコンを製造しており、スマートフォンやパソコン、スーパーコンピューターに活用されていることを学びました。トクヤマが製造する多結晶シリコンは、純度が99.99999999%であり、信じられないほどの高純度に大変驚きました。

【質問タイム】

工場見学で疑問に思ったこと、興味のあることについて、株式会社トクヤマの友村さんに質問しました。児童たちからは、煙突の高さや工場の広さ、従業員数などたくさんの質問が出ましたが、友村さんから親切に答えていただき、理解を深めることができました。

【工場見学後のアンケート】

工場見学後に行ったアンケートでは、すべての児童が株式会社トクヤマでは環境を大切に考え、リサイクルなどを積極的に行っている企業であるなど、身近にある工場の認識が大きく変わっていました。また、もっと見学をしたいなど、児童たちの更なる好奇心が生まれていました。

【工場見学の様子】

